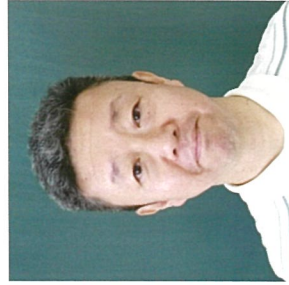




がんばれ 後援会会報

ごあいさつ



後援会会長
佐藤 英一

皆さん、こんにちは。後援会会長の佐藤です。我が後援会もおかげさまで、今年で区切りの15年目(2005年1月発足)を迎えました。

この15年の間で、後援会会員の皆さんからは横浜隼人の生徒たちへの熱いご支援と温かな見守りをいただき、その結果スポーツ・文化の各部活動での大活躍のニュースが数々寄せられました。

スポーツ関係では、関東では敵なしの女子卓球部、全国大会を目指す硬式・軟式野球部、そして活躍目覚ましい女子野球部、陸上競技部、さらには新体操などの個人種目での活躍の知らせも届いています。

文化関係では、常に全国レベルでの高い水準で大活躍の美術部や東関東大会で上位成績を常に残している吹奏楽部、そして文芸部や和太鼓部、かるた部、合唱部など様々な部活動で活躍する姿も数多く寄せられています。

後援会としては引き続き、スポーツ・文化の各部活動がますます盛り上がるよう、学校ともよく連携してしっかり取り組んでまいりますので、後援会員の皆さんの熱いご声援をこれからもどうぞよろしくお願いたします。

横浜隼人の生徒たちの更なる活躍に期待してください。



学校長
吉野 純三

今年の夏は、地球温暖化の影響のせいか7月までが雨続き、8月からは急に気温が上がり猛暑となりました。後援会の皆様におかれましてははいかががお過ごしでしょうか。

昨今、中学高校を取り巻く教育環境が大きく変わりつつあります。中高の学習指導要領が改訂になり、高大接続改革の一貫でセンター試験が令和3年には廃止になります。また英語に関しては4技能を重視した資格試験も必要になるなど変化がもたらされていく中、教育設備もそれに併せて改革に取り組んでいきます。昨年自習室が完成し、今年に入り、各クラスにモニターテレビを設置、Wi-Fi環境も整いました。新入生からは全員がタブレットを持ち、ICT化が急速に進んできています。

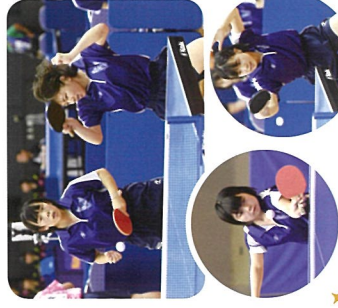
環境・施設が変わってきていても、変わらず今までの以上に熱いのが隼人です。みなさんのご支援を受けながら、新たに結果を出すクラブも出てきています。又、結果はまだですが、全国・関東大会を目指し一生懸命努力を積み重ねているクラブや生徒も沢山います。クラブ活動は結果だけではない、結果を出すまでの過程や人高力を培うことが重要だとも言われます。隼人には今年の夏よりも熱い熱い先生・生徒がともも多々います。今までみなさんのご支援に感謝しつつ、これからもご期待に込められるよう、教職員一同力を合わせて頑張りたいと思いますので、今後ともご協力とご支援を何卒宜しくお願いいたします。

女子卓球部

顧問/岸・大越・頼原・中川・鈴木



関東高校優勝



【女子卓球部大会実績】

- ・関東高等学校卓球大会 4連覇(団体戦) 優勝(ダブルス:青木優佳、小畑美月) 準優勝(シングルス:藤田奈子)
- ・全国高校総体 ベスト16(団体戦) ベスト8(ダブルス:青木優佳、小畑美月)
- ・関東中学校卓球大会 準優勝(団体戦) 優勝(個人:藤田知子) 準優勝(個人:武山華子)
- ・全国中学校卓球大会 3位(団体戦)



全国中学校3位(団体)



女子バレー部

顧問/佐藤(喜)・妻沼・濱上・只木



日頃より皆様には厚いご支援を賜り心より感謝申し上げます。現在部員35名で「全員バレー」をモットーに日々の練習に励み関東大会県予選では、「準優勝」しました。インターハイ県予選では、最終日まで進出しましたが、ベスト4でインターハイ出場を逃しました。ビーチバレー(マドンナカップ)においては、3年生野口・福田ペアが県予選で「優勝」し全国大会でも2年連続の「準優勝」を果たしました。11月3日から始まる全日本選手権大会(春高バレー)県予選が行われます。3年生にとって最後のチャンスを勝ち取れるよう精一杯頑張ります。応援の程宜しくお願いいたします。

■剣道部

顧問/高野(祥)・古賀・高島

常に向上を目指すチームづくりに皆で取り組んでいます。
関東大会四年度目の出場となる今年度、目標としていた「関東大会アハツ出場」を果たしました。剣道を愛し、仲間を大切にできる精神で切磋琢磨し、勝ちへのこだわりを結果に残せるチームとして日々前進しています。



【男女剣道部 令和元年度大会実績】

- ・第66回 関東高等学校剣道大会
神奈川予選
男子団体：第五位 女子団体：第七位
男子個人：第七位(三年 廣瀬 雅一)
- ・第59回 関東高等学校剣道大会
男子団体：出場
第66回 全国高校総体剣道大会
神奈川予選
男子団体：第三位 女子団体：第五位
男子個人：第四位(三年 廣瀬 雅一)
第五位(三年 久保 耀宗)
- ・女子個人：第五位(三年 宮川 雪吉)
- ・神奈川県剣道競技国民体育大会選手選考会
補欠選出 (三年 廣瀬 雅一)

■女子野球部

顧問/田村・山下・藤谷

部員は35名で平日は学校、休日は主に遠征し、活動しています。硬式に移行して7年目になりました。
「全国優勝」を目標に日々練習に取り組み、3月に行われた高校選抜大会ではベスト8に入り、全日本選手権にも出場しました。



校訓である必要で信頼される人になれるよう、野球が大好きな仲間たちとともに野球に勉強に充実した毎日をごして頂きます。
女子野球の知名度が上がるよう「横浜隼人」から元氣と笑顔を発信していきます。

■新聞部

顧問/熊野・臼井

日頃より学校新聞「隼人目線」のご愛読有り難うございます。昨年度は第68回神奈川県高等学校新聞コンクールで佳作・高文連会長賞・特別協賛賞を受賞。県6位になり、第43回全国高等学校総合文化祭佐賀大会に出場を果しました。3年生が引退し現在1・2年生3人で活動をしており、県の生徒新聞部会の副委員長も務め県高校新聞発行にも携わっています。今後部員が増えてくれることが一番の願いです。「新聞は作品ではなく働きである」という言葉を胸に、これからも愛される新聞作りに尽力致します。どうぞ応援のほど、よろしく御願い申し上げます。



- 【実績】
- ・第20回全国高等学校女子硬式野球選手権大会ベスト8(3月)
 - ・第15回全日本女子硬式野球選手権大会出場(8月)

■文芸部

顧問/佐藤(憲)・坂田・只木

8月20日(金)に群馬県前橋市において開催されました関東地区高校生文芸大会(詩)に、高校3年16組の井上菜緒さんが神奈川県代表として参加しました。午前中は詩人萩原朔太郎の孫で映像作家、俳優、前橋文学館館長の萩原明美氏の講演会を聴き、午後は分科会での合評会に参加し、関東7都県から集った文芸仲間と共に有意義な時を過ごしました。



■美術部

顧問/藤野・小林

この夏、美術部では多くの展覧会に出展し、以下のような賞をいただきました。また第8回横浜市美術乱用防止ポスターコンクールにおいて高校3年早川八重さんが薬剤師協会会長賞、高校3年根本純鈴さんと中学3年後藤瑠璃宮さんが神奈川新聞社賞、高校2年今西咲崎さんが横浜薬科大学学長賞を受賞しました。他12名の生徒も佳作に選ばれました。さらに、7月28日から佐賀県で行われました全国高等学校総合文化祭佐賀大会美術・工芸部門に神奈川県代表として高校3年根本純鈴さんが参加してきました。



美術部全体では今年も奥日光湯ノ湖にて8月8日～11日の3泊4日で合宿を行いました。今年度は横須賀総合高校と合同で行いました。交流試合などがない部活だからこえて、このような機会はとても貴重な体験になりました。この合宿で制作した作品は文化祭で発表します。ぜひ楽しみにしてください。



■和太鼓部

顧問/坂本・須賀・加藤(久)

8月16日に海老名市文化会館で行われた「第19回神奈川県高等学校和太鼓選手権」川東大会での最優秀賞を受賞し、関東大会への出場権を獲得しました。
関東大会(第10回関東地区高等学校和太鼓選手権)は同月21日、ハニーホール座席で開催されました。本校和太鼓部は神奈川県の伝承芸能をもとに創られた「ふちあわせ」を演奏し、銀賞を受賞しました。
また、今夏も地域の皆さまに演奏の機会を数多くいただきました。本当にありがとうございました。
今後とも精進してまいりますので、応援よろしく願いたします！



■新体操同好会

顧問/横尾・永尾・加藤(久)

新体操同好会は2017年度に同好会として活動を開始しました。日々の練習は各選手が所属するクラブチームで行っています。当初、高校3年生の3人からスタートし今年度は4人の1年生を迎え、現在は7人で活動中です。今春より隼人高校の団体チームを結成し、高3年9組の阿部、松尾、3年12組の羽根田、高校1年10組の柴崎、11組の小池の5人の団体メンバーでインナー4人、最終予選では県5位入賞、個人総合第4位に1年5組の鈴木が入賞、また県選手権大会で2位に入賞しました。また、神奈川県選抜代表選手として1年5組の鈴木沙菜が9月7～8日に茨城県日立市で開催の第74回国民体育大会に出場しました。今後とも応援をよろしく願いたします。



日々、文化部や運動部で、心身や技術の向上に一生懸命努力している生徒達を応援しましょう！

後援会は関東大会以上に出場する部活への支援をしています。

皆さんお一人お一人が会員です

がんばれ隼人 VOL.15 2019.9